

2023年 内燃機専門部会 国交省へ要請

課題、問題点、将来展望など意見交換 船用エンジン、海運・造船業界など



右から、祖開事務局長、中野副議長、磯部議長、江頭室長（国交省）、森本議員、村田議員

業種別 内燃機専門部会（磯部大輔議長・JAM静岡 赤坂鉄工所労組）は5月22日に東京・参議院議員会館で、船用エンジン、海運・造船業界の抱える課題や問題点、将来的な展望などについて、国土交通省へ質問・要請を行った。

主な内容は、ディーゼルエンジンから排出される温室効果ガスの排出量削減やカーボンニュートラル達成に向けてインフラ整備を含む次世代燃料をどのように選択しながら課題を克服していくのか。また、業界の抱える、高齢船の代替問題や人員の高齢化・次世代育成の対策をどうするか。安全に業務を遂行するための高度な資格や管理スキルの要求に対する

課題が山積していることを踏まえ、国としてどのような方向性を示し牽引していくのか等の質問や意見を提出した。

国土交通省からは、現状の政策や取り組み内容、付随する課題に対して、業界団体との協賛や各種支援に至る説明を受けた。再質問などにも丁寧な答弁があり、要請・要望事項については検討していくという前向きな回答があった。

要請に出席したのはJAM準組織内国会議員の森本真治参議院議員（JAMものづくり国会議員懇談会幹事長）と村田享子参議院議員（同 副幹事長）。内燃機専門部会9単組14人、国土交通省海事局船舶産業課・江頭博之室長ら8人。



あいさつする森本真治参議院議員
左側が内燃機専門部会の参加メンバー、右側が国交省